



魅力だより



3学期も中盤を迎えました。子供たちが次の学年に向かっていく時期です。

1月から2月にかけて、県内各地への義務教育課による学校訪問、国研「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」の先進地視察受入、県「魅力ある学校づくりプロジェクト研究協力校」の訪問等があり、県内の多くの学校の取組を知る機会を得ています。

「魅力ある学校づくり」に取り組んだ結果、多くの成果が確認されていますのでご紹介します。

来年度の取組の参考にしていただけるとありがたいです。

Ⅰ 「こども事業」先進地視察（他県受け入れ）より

「魅力ある学校づくり」を継続すると学校が変わっていくことを実感

本年度「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」に取り組んでいただいている薩摩川内市立川内北中学校区の各学校を訪問し、先生方の意識が高まり取組が充実していると感じました。

具体的には、次のとおりです。視察に来られた山口県、宮崎県の皆様も、多くのことを学ばれ、それぞれの自治体での取組の参考になると大変喜んでいらっしゃいました。

<モデル校区各学校の主な成果>

- 授業の中で「生徒指導の4つの視点」を踏まえることが浸透してきており、めあてがしっかりと提示され、見通しを立てて協働的な学びや対話的な学びの場が多く取り入れられているようになった。
- 「笑顔が絶えない職員室」を目指すなど、同僚性の向上が図られた結果、校内の研究組織が機能し、研究がスムーズに推進され成果が出ている。
- 先生方の意識や視点が変わり、学校の雰囲気や子供への接し方、「教育観」と「授業」が変化してきた。
具体的には、声かけ、場の設定、学習形態、ふり返りの充実等、子供の立場に立って工夫する先生が増えた。
- 日々の授業を中心に取り組んだ結果、あらゆる活動において子供たちへの言葉や、そのときの接し方が変わり、先生方同士の情報共有と自然と協議する機会が増え、学校全体が温かい雰囲気になっている。
- 先生方の会話の中での共通言語として、生徒指導の4つの視点や「居場所づくり」、「絆づくり」等が定着してきた。

●モデル校区の具体的な取組事例●

①モデル校4校と教育委員会（担当者）の連携

- ・情報共有と方向性の確認、検討、相談
- ・具体的な共通実践事項等の検討、相談
- ・各校では担当者が中心となって取組を推進

②小中共同実践

- ・意識調査重点項目の統一
- ・「わがとも」によるふり返り
- ・キャリアパスポート統一（内容、方法、様式等）

わ…分かったこと
が…がんばったこと
と…友達の見分で参考になったこと
も…もつとやってみたくて

③小中連携+小小連携（のりしろ的発想も必要）

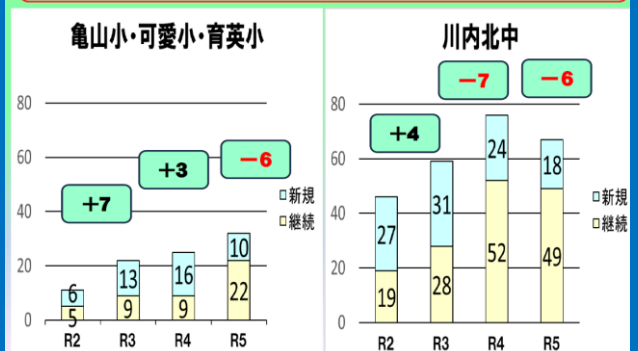
やはり、「魅力ある学校づくり」の理念を正しく理解し、その手法で忠実に取り組むことが成果を生むようです。



新規不登校数推移に注目!!

「新規不登校の抑制」こそが、「魅力ある学校づくり」の究極目標です!

モデル校区の不登校の新規数の推移（毎年12月）



2 学習指導と生徒指導の一体化に関する薩摩川内市の取組

日々の授業での積み重ねを!「教科の本質」を追求することは必須

日々の授業で「居場所づくり」と「絆づくり」をするために、生徒指導の4つの視点を踏まえた授業づくりをすることの重要性については、県内各地でも浸透しつつあるようです。「授業に内在化する生徒指導」に着目しているうちに、教科指導としての本質の追求が薄くなるケースもあるように感じていますが、それぞれの学校ではいかがでしょうか。

授業は、言うまでもなく、子供がその時間にしっかりと学習内容を身に付け、「分かった」、「できた」を実感することが必須で、学力向上を目標とすることが前提です。

●薩摩川内市学力向上プランと教科の本質の捉え●

薩摩川内市では、学力向上プランに「魅力ある学校づくり」や生徒指導提要に示されている「学習指導と生徒指導の一体化」の要素をプラスして、意識調査項目の「授業に主体的に取り組んでいる」、「授業がよく分かる」の向上を目指し、教科の本質をついた取組を推進しています。

各教科等の本質

- ・ 児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら…
- ・ 各教科等で学習したことが、将来どのような役に立つのか、児童生徒に考えさせる

教師自身が、自分が担当している教科等について、何のために学ばせているのか理解していること

薩摩川内市教育委員会作成先進地視察プレゼン資料より

令和5年度薩摩川内市学力向上プラン 「未来をたくましく生きる力を育む教育の推進」

～「魅力ある授業」で、子供も笑顔、教師も笑顔!～

もっと!

「主体的・対話的で深い学び」へ

- 子供が見通しをもち、学びを進める授業
- 子供が対話を通して、学びを深める授業
- 子供が振り返り、学びの実感を味わう授業



授業がよくわかる!

授業に主体的に取り組んでいる!



薩摩川内市教育委員会作成先進地視察プレゼン資料より



授業が変わると学校魅力が向上

国においても「教育観」の転換が必要だとされています。子供の意識調査を基にした授業改善を推進してきましたが、これは、義務教育課が推奨している「学習者主体の授業」の実現のための「観」のアップデートと合致します。学校魅力の向上です。

3 県内各地で広がる「魅力ある学校づくり」

各学校で子供たちや地域の実態に応じて展開する「魅力ある学校づくり」

和泊町立和泊小学校

和魂スタディタイム
6年生が1～5年生の指導を行う。指導内容や方法は、各クラス担任と打ち合わせて決定し、クラス担任の指導のもと実施する。学力向上ばかりでなく、6年生にとっては、最高学年としての自覚を深めるとともに、下の学年への思いやりを育てる機会となる。
また、1～5年生にとっては、6年生への憧れを抱き、自分たちもそうなりたいという意欲につながる。



和泊小学校の特色ある取組の一つ

和泊小学校では、「魅力ある学校づくり」についての共通理解が進み、意識調査結果を基に、先生方が取組を工夫改善され、発達支持的生徒指導が溢れていました。しっかりとした教科指導も印象的でした。

霧島市立溝辺中学校



生徒同士、教師と生徒の温かい関係

溝辺中学校では、生徒が自主的に参画する活動や行事が多く行われ、参観しながら、日々、効果的なICT活用、基礎・基本の定着、協働的な学び等の工夫により教科の本質に迫る授業を意識されていることが伝わりました。

各学校では、取組を進める中で、不明なことや疑問に思うことが出てくることと思います。ちょっとしたことでも、どうぞお気軽にお尋ねください。(市町村教育委員会、各学校からでも大丈夫です。)

【連絡先】高校教育課学校教育生徒指導班